岩手日報　2009年9月28日（月）

どろだんご作りを学ぼう

滝沢・県立大　初の指導者向け講座

滝沢村の県立大学生サークル・どろんこ隊（佐藤佳菜代表）主催の「光るどろだんご作り指導者養成講座」は27日、同大の砂場で開かれた。

県内の保育士ら44人が参加。同大社会福祉学部で保育を学ぶ約15人の学生から、さらさらに乾いた土を何度も重ねて磨くことで光る真ん丸のどろだんごの作り方を、実地に学んだ。途中で傷が付いてしまったときの対処法など、子どもたちに教えるときのこつについて質問した。

学生にアドバイスを受けながら、どろだんご作りに挑戦する参加者

洋野町の種市放課後児童クラブに務める下田定子さん(53)は「土と水があればできる。子どもたちと一緒にやりたい」と関心を示した。

同サークルはこれまで親子対象のイベントを開催しており、指導者向けの講座を企画したのは初めて。同講座は県内5大学で構成するいわて高等教育コンソーシアムの「学生の地域参加プロジェクト」に採択され、経費支援を受けている。